

# ゆうあい ほつらいん

令和元年 8月・9月号  
第272号



公益財団法人  
調布ゆうあい福祉公社  
調布市国領町3-8-1  
☎042(481)7711 FAX042(483)4378

## 平成30年度事業報告

### 【健全な公社経営】

平成30年度は、平成28年度に策定した経営再建計画の最終年度として、引き続き、訪問介護事業、居宅介護支援事業、入間町地域密着型認知症デイサービス「ぶちぼあん」の自主三事業トータルで、黒字決算を維持しました。

受託事業では、調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業で、新たに個別機能訓練プログラムの導入し、加算取得に努めました。

### 【運営体制の強化・整備】

人材の確保と育成を、最重要課題と位置づけ、専門研修は元より、ハラスメント研修や法令順守に関する研修、またロジカルシンキング(論理的思考)研修などを実施しました。

### 【施設改修の計画・準備】

一部の事務室で、未設置であった空調機の設置工事を行いました。浴室の改修については、調布市との協議を継続していきます。

### 【30周年記念事業の実施】

多数のご来賓や協力会員等をお招きし、公社設立30周年の記念式典を開催しました。協力を

員や個人ボランティア・ボランティア団体等を表彰するとともに、高額寄附、継続寄附をされた方々に感謝状を贈呈しました。  
【地域の福祉人材の発掘・育成に向けた研修の充実】

積極的な協力会員等の募集に努め、新規登録者を増やしたほか、詐欺被害や老年医学など身近な題材を基に研修を開催し、生活改善や地域づくりに繋がる活動を展開しました。また、地域の介護職員初任者研修などへ、講師として職員を派遣するなど、福祉人材育成の一翼を担いました。

### 【認知症当事者と家族介護者支援の拡充】

認知症サポーター養成講座事業では、およそ千五百人のサポーターを養成しました。サポーターへの支援として、「活躍の場リスト」を更新し、配布などを開催しました。家族介護者支援では、介護技術講座を開催したほか、出張介護技術講座としてホームヘルパーを出張派遣するモデル事業を実施しました。

### 【介護保険報酬改定への対応】

居宅介護支援事業、訪問介護

事業、通所介護事業において、改正内容に対応した体制の変更や、契約書類の整備等を行いました。

### 【医療介護連携の推進】

医療・介護の各種団体等と連携し、「ちよふ高齢者応援大会」を共催しました。

### 【地域共生社会の推進】

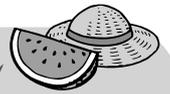
小・中学生の親子を対象に、食事サービスの協力会員と協働し、「ゆうあい福祉セミナー『親子で作る！飾り巻寿司』」を開催し、多世代交流を図りました。

平成30年度収支決算の状況

(単位：円)

収入の部	決算額	支出の部	決算額
事業収入	346,827,852	高齢者・障害者等支援事業	448,597,388
補助金等収入	186,710,717	普及啓発・人材育成・調査研究開発事業	7,437,553
その他の収入	12,780,320	管理費	79,180,923
収入合計	546,318,889	支出合計	535,215,864
		当期収支差額	11,103,025
		前期繰越収支差額	45,228,676
		次期繰越収支差額	56,331,701

※その他の収入とは基本財産受取利息と賛助会員費収入・負担金収入・寄付金収入・雑収入の合計  
※公社ホームページの「公示・情報開示」に事業報告書、財務諸表を掲載しております。



## 介護予防・日常生活支援 総合事業(市基準サービス)

『楽しい仲間と続けられる運動で、いつまでも生き生きと!』をスローガンに週3回(月・水・金)午前中に、3時間ほど全身のストレッチや筋力トレーニングなど様々な運動を行っています。

事業対象者や要支援の方々が、すっかり身体を動かして、「身体がすごく楽になった」、「姿勢が良くなった」と、うれしいお声を寄せてくださいます。参加されていらっしゃる方々は、会話も弾み、皆さん楽しく過ごされています。



## 対抗ゲーム

今年もまた、曜日ごとに紅白対抗戦ゲームを行いました。『物送りゲーム』・『雨々降れ降れゲーム』に加え、新たに『万歩計ゲーム』も登場しました。また、来年の東京オリンピックを先取りし、五輪マークを作ったり、首に金メダルや銀メダルを掛けてもらったりで、皆さん、とても喜ばれていらっしゃいました。



## 6・7月の活動報告

### ☆来訪

- ・ハナ・フラレイ (6月6日)
- ・二胡演奏《松前さん》(6月17日、7月23日)
- ・小波会 (6月22日)
- ・ぬくもりの会 (6月26日、7月10日・24日)
- ・ピアノ演奏《田澤さん》 (6月28日)

### ☆行事

- ・ドルチェ (7月11日)
- ・JAフラダンス (7月12日)
- ・みどりの会 (7月16日)
- ・ラルゴ (7月18日)
- ・対抗ゲーム (6月3日～5日、6月13日～15日)
- ・七夕 (7月1日～15日)

## 8・9月の活動予定

- ☆行事
- ・夏祭り
- ・敬老会

### ☆個人ボランティア

- 5月延べ 40名
  - 6月延べ 33名
- 皆様のご協力ありがとうございました。

### ☆お礼

タオルのご寄附、ありがとうございました。引き続きタオルのご寄附をお願い致します。

## 新人紹介

デイサービス係に、介護職員と送迎車のドライバーの職員が新しく配属されました。どうぞよろしくお願ひします。



たけやま ひろこ  
武山 弘子

前職のリハビリのデイサービスの経験を活かして、体操や機能訓練を通して、皆様との交流を楽しみながら、私自身も成長していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



いしばし しげお  
石橋 俊一

今迄22年に渡り、タクシーの運転手をして参りました。その中で、お年寄りの方々と接しているうちに、送迎だけではなく、乗り降りのサポートなど、もつと役に立ちたいと考えようになりました。安全第一に、ご利用者の皆様に安心していただける運転を、心がけてまいります。

## 地域包括支援センター ゆうあいより

### ■民生児童委員と広報協力員との連絡会の開催

6月11日(火)(第2地区対象)と6月24日(月)(第4地区対象)に、民生児童委員と広報協力員との連絡会を開催しました。

両日あわせて17名の民生児童委員と広報協力員が出席し、日頃、見守りネットワーク事業(みまもつと)に協力する中で、多い相談事や、地域による特性などについて、活発な意見交換や情報交換を行いました。

民生児童委員、広報協力員、地域包括支援センター職員が、それぞれの活動を知り、今後とも良い連携が図れるよう、顔の見える関係づくりができました。



### ■『誤嚥性肺炎って知っていますか?』出張説明会の報告

6月23日(日)に、調和SHC倶楽部で、誤嚥性肺炎について出張説明会を開催しました。

肺炎は、近年、日本人の死亡原因の第3位に上げられています。今回は、特に高齢者に多い誤嚥性肺炎について、予防方法や食事内容、また、お口の体操等の話を、言語聴覚士の山崎暁氏(篠原訪問看護ステーション)をお招きし、講義していただきました。

参加者からは、「元気なうちに、肺炎予防に取り組む重要性が、よく理解できた」との声がありました。



出張説明会では、参加者にみまもりネットワーク事業のPRを行っています。

### ■令和元年度 第1回地域ケア会議の開催報告

6月28日(金)に、『認知症になっても安心して暮らせるまち(迷い人の事例を通じて)』をテーマに、第1回地域ケア会議を開催しました。

会議には、民生児童委員、広報協力員、地域の各種団体やケアマネジャーをはじめとした介護専門職の皆さんにご参加いただきました。

講師には、主任ケアマネジャーであり、看護師である大木智恵子氏をお招きし、認知症による生活支障を、個人や家族の問題として捉えるのではなく、地域の課題として理解するグループワークを行いました。問題解決への、多くの意見交換があり、有意義な場となりました。



### ■熱中症予防カード配布中

例年、夏季の猛暑による熱中症の健康被害が、数多く報告されています。被害を受けた方の半数以上は、65歳以上の高齢者です。

調布市では、熱中症の危険性を表示するカード型温度計を、70歳以上の方を含む全世帯に配布し、注意喚起をしています。熱中症対策としては、「瞬間冷却パック」や「ネッククーラー」などのグッズの活用も有効ですので、積極的にご活用下さい。



カード型温度計

### 新人紹介



地域包括支援センター係  
かわしま まほ  
川島 麻穂

看護師として働いてきました。今回初めて保健師として地域に出るため不安ですが、先輩方から知識や経験を吸収し、早く一人前になれるよう努力していきます。

# 食事サービス レシピご紹介

生姜パワーで、猛暑を乗り切る！

## “鶏肉のソテー 香味ソース”

～夏野菜添え～



### 材料 (2人分)

- 鶏モモ肉……2枚 (150g)  
A [ 塩・胡椒……各少量  
酒……大さじ1  
生姜 (おろし) ……小さじ1  
油……適量  
◆香味ソース  
油……適量  
生姜……小さじ1 (みじん切り)  
長ネギ……20cm (みじん切り)  
B [ 醤油……大さじ2  
酒……大さじ2  
水……大さじ2  
◆添え野菜  
カボチャ、ブロッコリー  
人参など適量

※添え野菜は、インゲン、ピーマン、じゃがいも、なすなどの冷蔵庫にあるものを活用してもいいです。

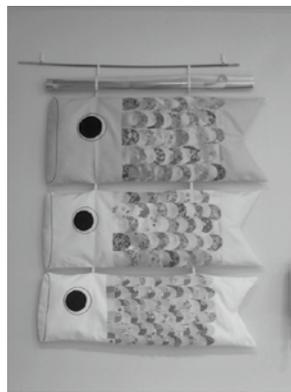
### 作り方

- 1 鶏肉は、厚いところに切れ目を入れ、厚みが均一になるように開く。
- 2 1の鶏肉に、Aの調味料とおろし生姜で下味をつけておく。
- 3 かぼちゃは5ミリ程の薄切り、人参は5ミリ程のイチョウに切り、ブロッコリーは小房に分ける。鍋に人参と水を入れ茹で、人参が少しやわらかくなったらブロッコリーを入れ食べやすい硬さに茹でる。
- 4 フライパンに油を中火で熱し、2の鶏肉の皮を下にして入れ、蓋をしながら焼く。こんがり焼き色がついたら、ひっくり返して裏面もしっかり焼く。鶏肉の油が出ているようであれば、ペーパータオル等でさっと拭く。
- 5 同じフライパンで、かぼちゃも一緒に入れて、両面を焼く。皿に鶏肉とかぼちゃを盛り付け、3の野菜を添える。
- 6 同じフライパンに油をひき、みじん切りにした生姜と長ネギを中火で炒め、Bの調味料と水を入れ、ひと煮立ちさせる。
- 7 5に、6のソースをかけてできあがり。

★香味ソースは分量が多めにできるので、冷蔵庫で2～3日は保存できます。白身魚のソテーや温野菜、豆腐にかけてもおいしく召し上がれます。

## ぷちぽあん通信

◆5月に、ぷちぽあんでは、鯉のぼりを製作しました。  
生地を採寸し、利用者の皆さんには、鱗を貼る作業を行っていただきました。左が完成品の写真です。写真では伝わりにくいのですが、実物は約1メートルの大作です。記念撮影も行いました。



◆ぷちぽあんでは、年2回、利用者のご家族や、地域の民生児童委員、地域包括支援センターや他施設の職員等をお招きし、運営推進会議を開催しています。

今年度は、第1回を5月28日(火)に開催し、活発な情報や意見の交換ができました。この議事録は、ぷちぽあんで閲覧可能です。

◆ぷちぽあんの利用者の中に、ピアノを弾ける方が何名かいらっしゃいます。その方たちが、お昼休みにピアノがある部屋に集まり、演奏や音楽にまつわる昔話などで、楽しいひと時を過ごされています。



### 一緒に活動しませんか

水曜日の午前中に、利用者の皆さんへ飲み物を入れて下さる方を、募集しています。興味や関心をお持ちになった方は、ぜひ、ご連絡ください。連絡先は、左記のとおりです。お待ちしております。

【問い合わせ】ぷちぽあん  
☎03(3483)1681



**協力会員定例研修会報告『ユマニチユード』をやってみよう**

5月30日(木)に、DVD『優しい認知症ケア・ユマニチユード』の実技編『ユマニチユードをやってみよう』を鑑賞し、参加者で意見交換を行う、協力会員定例研修会を、開催しました。参加者からは、「ユマニチユードの技術を身に付け、認知症の方と良好な関係を築きたい」、「もう少し深く学び、実践していきたい」、「見る・話す」は、日々の協力会員活動の中でも活かせる」、「『相手を思いやり、いかに優しく接するか』、その技術とポイントが学べた」、「とても良い研修でした。今後の活動に活かしていきたいです」等の感想があり、活発で盛況な研修会となりました。



**協力会員対象『ランチ交流会』開催報告**

7月2日(火)午前11時から、公社2階において、協力会員対象の『ランチ交流会』を開催しました。

当日は、7名の参加者があり、日頃の協力会員活動で感じるさまざまな思いを、それぞれが語り合う時間が持てました。会員活動を始めたばかりの方からは、先輩の経験談が勉強になったとの感想がありました。

公社では、定期的にこのような交流会や研修会を開催し、協力会員同士が顔を合わせる場を設け、交流の機会を増やしていきます。

今後、ほっとらいんやチャシ等でお知らせしますので、ぜひ、ご参加ください。



**民生児童委員協議会での出張説明会の報告**

公社が展開する三種類（ホームヘルプサービス・食事サービス・ちよこつとさん）の住民参加型サービスや、会員制度の仕組みに関する出張説明会を、4月25日の第3地区を皮切りに、市内各地域で開催されている民生児童委員協議会で行っています。

説明会では、具体的なサービス事例を紹介するとともに、公社の概要や他に展開する様々な事業等についても触れています。

地域でご活躍される民生児童委員の皆様、公社の事業を知っていただく良い機会となります。



**新人紹介**

訪問介護係と管理係にも、新しい職員が入職しました。

■訪問介護係 登録型ヘルパー  
成田 恵里



優しくご指導いただきながら、楽しく仕事をしています。頑張り過ぎずにいい仕事を長く続けていきたいと思っています。

■管理係 事務員  
梯 郁奈



まだまだ不慣れですが、教わった業務をしっかりとこなす、貢献できればと思います。

■管理係 事務員  
畠山 秀信



「二つの事に沢山の気持ちを入れたかが大切」、ある偉人の言葉です。一つの仕事も丁寧である様、心掛けていきます。

## 協力会員サロンのご案内

公社では、各地域に出張し、協力会員の方々から、日頃の活動報告をお受けする場として、協力会員サロンを開催しています。

今回は、8月30日(金) 午後1時30分から、菊野台地域福祉センターで、開催します。

ホームヘルプサービスの活動をされている協力会員さんからは、「他の協力会員の方と交流する機会がなかなかない」といった声も多くいただいていますので、この機会にサロンにご参加いただき、協力会員の交流の場として、活用していただければと考えています。

協力会員の皆様、ご出席をお待ちしております。



## 第2回協力会員定例研修会 (公開講座) 『コミュニケーションスキルアップ研修 傾聴を学ぼう』のご案内

”傾聴“は、カウンセリングやコーチングにおけるコミュニケーションスキルの一つです。

今回は、海外で傾聴を学ばれ、長年、日本各地で傾聴ボランティアの普及に、ご尽力されてこられた鈴木絹英先生をお招きし、演習を交えながら聴く技術を学びます。

支え合いの活動のなかで、ご利用者様と、よりよい関係を築くために、この機会に傾聴について、一緒に学びましょう。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

【日時】 9月27日(金)

午後1時～2時30分

【場所】 調布市市民プラザあくるす ホール1

【対象】 協力会員・登録ボランティア・市民

【講師】 NPO法人日本傾聴ボランティア協会

理事長 鈴木絹英氏

【申込み・問い合わせ】

住民参加推進係

☎042(481)7711

## 認知症サポーターフォー アアップ講座のご案内

『認知症の方の世界を知ろう』と題して、認知症サポーターフォローアップ講座を開催します。

これは、認知症サポーター養成講座を、すでに受講されている方を対象とした講座で、認知症への理解をより深化させるためのステップアップ講座です。

講座では、講義の他に、『認知症の方の世界を知ろう』をテーマに、受講者の皆様に認知症の模擬体験もしていただきます。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

【日時】 10月5日(土)

午後2時～4時

【場所】 総合福祉センター2階 201～203会議室

【対象】 認知症サポーター養成講座受講経験者で、市内在住もしくは在勤・在学の方

【講師】 聖徳大学 心理・福祉学部 心理学科

准教授 北村世都氏

【定員】 30名(先着順)

【参加費】 無料

【申込み・問い合わせ】  
住民参加推進係  
☎042(481)7711



## お詫びと修正

前号(6月・7月号)のほつとらんの記事に、誤りがありましたので、次のとおり訂正し、お詫びいたします。

6頁『デイサービスボランティア募集』の記事で、「お申し込みご相談 活動先」②が、『認知症対応型値通所』と表記されていましたが、正しくは『認知症対応型通所』です。

## ご寄附ありがとうございます

田村 清治様 レジ袋・タオル  
山元 稔様 けん玉  
老人会きららクラブ

フラダンス衣装 10着程度

会員状況(令和元年6月末現在)

○利用会員 296世帯(373人)

○協力会員 284人

○賛助会員 個人207人  
法人 8団体